

数学 解答用紙

氏名	
----	--

解答上の注意事項

- 1 マーク式で解答する問題は、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 記述式で解答する問題は、解答欄からはみ出さないように書くこと。
- 3 答えを直すときは、きれいに消して、消しきずを残さないこと。

良い例	悪い例
●	（線） 小さい はみ出し 丸囲み レ点 うすい

*受検番号欄は裏面にもあります。

受 検 番 号

①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨

1	(1)	①	※解答欄は裏面
		②	※解答欄は裏面
		③	※解答欄は裏面
	(2)	①	⑦ ① ④ ⑩
		あ	① ② ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		② い	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		う	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	(3)	①	⑦ ① ④ ⑩
		②	⑦ ① ④ ⑩
	(4)	① え	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		② お	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	(5)	① か	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		き	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	(6)	く	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		け	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	(7)	こ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		②	① ④ ⑩
			※解答欄は裏面

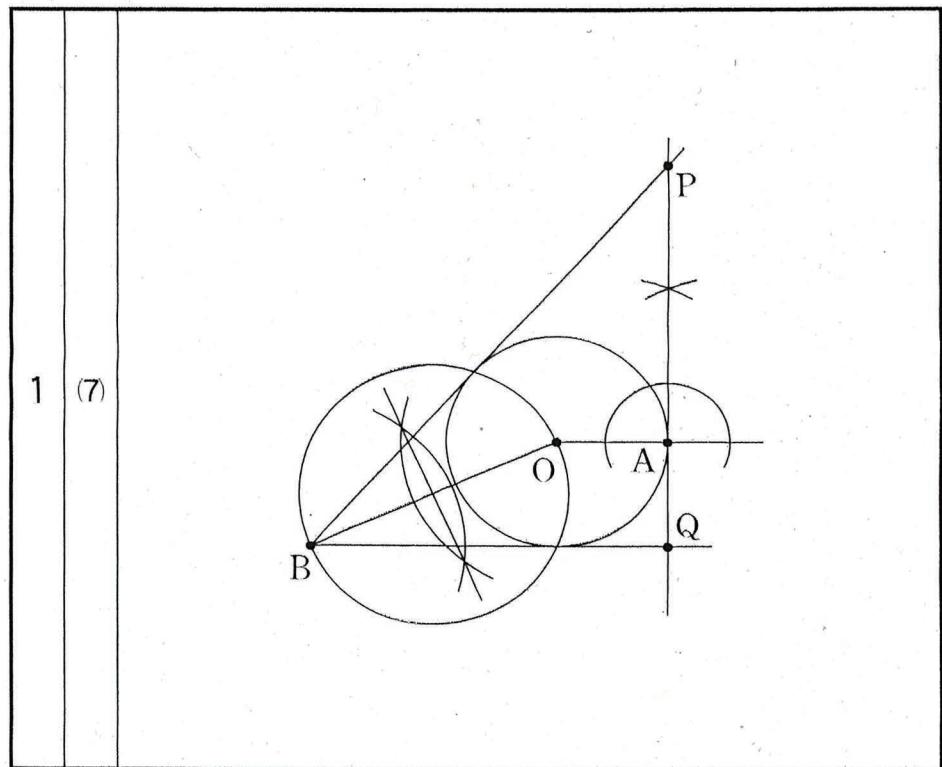
2	(1)	①	さ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		し	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		す	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
	(2)	せ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		そ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		た	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		ち	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		つ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
		て	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	

3	(1)	(a)	⑦ ① ④ ⑩
		(b)	⑦ ① ④ ⑩
		と	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	(2)	な	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		(2)	※解答欄は裏面
		(3)	に
		ぬ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

4	(1)	(a) ね	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		(b) の	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
		(c) は	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	(2)	(d)	※解答欄は裏面
		(e)	※解答欄は裏面
		(2)	※解答欄は裏面
			※解答欄は裏面

受検番号			

		①	-7
1	(1)	②	$\frac{5}{4}a - b$
		③	$x^2 - x + 1$



	3 (2)	<p>△ABE と △ADCにおいて、 共通な角だから、 $\angle BAE = \angle DAC \dots\dots\textcircled{1}$</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>△BECにおいて、1つの外角はそのとなりにない 2つの内角の和に等しいので、 $\angle ABE = \angle ECB + \angle BEC = \angle ECB + 90^\circ \dots\textcircled{2}$ また、$\angle ADC = \angle EDB + \angle BDC = \angle EDB + 90^\circ \dots\textcircled{3}$ ここで、$\angle ECB$ と $\angle EDB$ は \widehat{BE} に対する円周角だから、 $\angle ECB = \angle EDB \dots\textcircled{4}$ ②, ③, ④より、$\angle ABE = \angle ADC \dots\textcircled{5}$</p> </div> <p>①, ⑤より、2組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ABE \sim \triangle ADC$</p> <p>異なる証明の例(点線内)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\begin{aligned} \angle AEB &= 180^\circ - (\angle DEC + 90^\circ) \\ &= 90^\circ - \angle DEC \dots\textcircled{2} \end{aligned}$ <p>△BCDにおいて、内角の和が 180° だから、 $\begin{aligned} \angle ACD &= 180^\circ - (\angle DBC + 90^\circ) \\ &= 90^\circ - \angle DBC \dots\textcircled{3} \end{aligned}$ ここで、$\angle DEC$ と $\angle DBC$ は \widehat{DC} に対する円周角だから、 $\angle DEC = \angle DBC \dots\textcircled{4}$ ②, ③, ④より、 $\angle AEB = \angle ACD \dots\textcircled{5}$</p> </div>		
		(d)		$c = 10 - a - b$

	4 (2)		(d)	$c = 10 - a - b$		
			(e)	$M = -5a - 7b + 40$		
				$M = 0$ となるとき、 $-5a - 7b + 40 = 0$ aについて解くと、 $a = 8 - \frac{7}{5}b$ aが0以上10以下の整数となるのは、 $b = 0$ または $b = 5$ のときである。 したがって、 $b = 0$ のとき、 $a = 8 - 0 = 8$, $c = 10 - 8 - 0 = 2$ $b = 5$ のとき、 $a = 8 - 7 = 1$, $c = 10 - 1 - 5 = 4$ よって、 $a = 1$, $b = 5$, $c = 4$ $a = 8$, $b = 0$, $c = 2$		